

産業部

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	28日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
事務事業名	農産物被害防除事業			事業類型	補助金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ	記入者氏名	廣木 智也																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画対象事業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	基本事業名			2 安全な食料の安定供給																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	農産物被害防除事業	根拠法令	那珂市イノシシ等被害防止対策事業補助金交付要項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
事業概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
【全体概要】 ・水稲における病害虫の共同防除 ・農作物に対するイノシシ等の被害防止及び捕獲 ○H26年度から「有害鳥獣捕獲事業」が環境課から移管 ○H28から捕獲期間延長(6カ月⇒7カ月) H27 184日間(6/17～9/17・12/1～2/29) H28 211日間(6/16～10/14・12/1～2/28)						【業務内容】 ・共同防除の申込みや区域設定及び那珂市病害虫防除隊への補助金交付 ・防護柵や電気柵等を設置した農業者に対するの補助金交付 ・那珂市鳥獣害対策協議会への補助金交付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="6">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水稲稲作農家・防護柵等設置農家</td> <td>空中散布農家件数</td> <td>件</td> <td>3414.</td> <td>3335.</td> <td>3300.</td> <td>3300.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>防護柵等設置件数</td> <td>件</td> <td>9.</td> <td>3.</td> <td>25.</td> <td>25.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="6">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">那珂市病害虫防除隊が空中散布を実施。イノシシ等の獣類による農作物被害を防止するため、防護柵等の設置に対する補助金を交付する。また、那珂市有害鳥獣捕獲隊に農作物被害を及ぼすイノシシの捕獲業務を委託する。</td> <td>空中散布実施面積</td> <td>ha</td> <td>626.</td> <td>600.62</td> <td>580.</td> <td>580.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>イノシシ捕獲頭数</td> <td>頭</td> <td>172.</td> <td>149.</td> <td>165.</td> <td>200.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="6">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">良質米の生産を図り、生産性を高めることにより農業所得の向上を図る。イノシシ等の被害による収穫皆無面積の削減。</td> <td>1等米の比率</td> <td>%</td> <td>93.</td> <td>93.</td> <td>93.</td> <td>93.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>イノシシによる収穫皆無面積</td> <td>a</td> <td>27.81</td> <td>27.3</td> <td>20.</td> <td>20.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="13">(2)投入量の推移</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>1,360</td> <td>1,387</td> <td>1,320</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>4,013</td> <td>3,973</td> <td>5,292</td> <td>5,003</td> <td>5,003</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>5,373</td> <td>5,360</td> <td>6,612</td> <td>6,603</td> <td>6,603</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,533</td> <td>0.44人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,906</td> <td>8,858</td> <td>10,110</td> <td>10,101</td> <td>10,101</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="13">(3)事務事業の環境変化・市民意見等</td> </tr> <tr> <td colspan="13">①事業を始めたきっかけ</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年頃、良質米生産をするため、病害防除は一斉に広範囲の水稲作付圃場にわたって行った方が良いとの観点から開始。 ・獣類による被害報告が多数寄せられ、農家の自衛意識の向上を図るため開始。 </td> </tr> <tr> <td colspan="13">②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から有人ヘリコプターから無人ヘリコプターの空中散布に切り替わり、農家の実施希望圃場を対象に個々の農家の防除作業受託の形に変化した。 ・イノシシの被害は範囲を含め拡大傾向にある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="13">③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <ul style="list-style-type: none"> ・農家からは、個々で防除を実施するのは困難なため、無人ヘリによる防除は助かるとの声がある。 ・イノシシ等による被害防止対策事業については、那珂市全域を有害鳥獣捕獲対象区域にしてほしいとの要望がある。 </td> </tr> </tbody> </table>															単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						水稲稲作農家・防護柵等設置農家		空中散布農家件数	件	3414.	3335.	3300.	3300.			防護柵等設置件数	件	9.	3.	25.	25.	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						那珂市病害虫防除隊が空中散布を実施。イノシシ等の獣類による農作物被害を防止するため、防護柵等の設置に対する補助金を交付する。また、那珂市有害鳥獣捕獲隊に農作物被害を及ぼすイノシシの捕獲業務を委託する。		空中散布実施面積	ha	626.	600.62	580.	580.			イノシシ捕獲頭数	頭	172.	149.	165.	200.					0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						良質米の生産を図り、生産性を高めることにより農業所得の向上を図る。イノシシ等の被害による収穫皆無面積の削減。		1等米の比率	%	93.	93.	93.	93.			イノシシによる収穫皆無面積	a	27.81	27.3	20.	20.					0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	(2)投入量の推移													<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>1,360</td> <td>1,387</td> <td>1,320</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>4,013</td> <td>3,973</td> <td>5,292</td> <td>5,003</td> <td>5,003</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>5,373</td> <td>5,360</td> <td>6,612</td> <td>6,603</td> <td>6,603</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,533</td> <td>0.44人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,906</td> <td>8,858</td> <td>10,110</td> <td>10,101</td> <td>10,101</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	事業内訳費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	1,360	1,387	1,320	1,600	1,600	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	0	一般財源	千円	4,013	3,973	5,292	5,003	5,003	0	事業費計(A)		千円	5,373	5,360	6,612	6,603	6,603	0	人件費計(B)		千円	2,533	0.44人	3,498	0.61人	3,498	0.61人		投入量(A)+(B)		千円	7,906	8,858	10,110	10,101	10,101		(3)事務事業の環境変化・市民意見等													①事業を始めたきっかけ													<ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年頃、良質米生産をするため、病害防除は一斉に広範囲の水稲作付圃場にわたって行った方が良いとの観点から開始。 ・獣類による被害報告が多数寄せられ、農家の自衛意識の向上を図るため開始。 													②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)													<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から有人ヘリコプターから無人ヘリコプターの空中散布に切り替わり、農家の実施希望圃場を対象に個々の農家の防除作業受託の形に変化した。 ・イノシシの被害は範囲を含め拡大傾向にある。 													③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)													<ul style="list-style-type: none"> ・農家からは、個々で防除を実施するのは困難なため、無人ヘリによる防除は助かるとの声がある。 ・イノシシ等による被害防止対策事業については、那珂市全域を有害鳥獣捕獲対象区域にしてほしいとの要望がある。 												
		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
水稲稲作農家・防護柵等設置農家		空中散布農家件数	件	3414.	3335.	3300.	3300.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		防護柵等設置件数	件	9.	3.	25.	25.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
那珂市病害虫防除隊が空中散布を実施。イノシシ等の獣類による農作物被害を防止するため、防護柵等の設置に対する補助金を交付する。また、那珂市有害鳥獣捕獲隊に農作物被害を及ぼすイノシシの捕獲業務を委託する。		空中散布実施面積	ha	626.	600.62	580.	580.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		イノシシ捕獲頭数	頭	172.	149.	165.	200.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
良質米の生産を図り、生産性を高めることにより農業所得の向上を図る。イノシシ等の被害による収穫皆無面積の削減。		1等米の比率	%	93.	93.	93.	93.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		イノシシによる収穫皆無面積	a	27.81	27.3	20.	20.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
(2)投入量の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>1,360</td> <td>1,387</td> <td>1,320</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>4,013</td> <td>3,973</td> <td>5,292</td> <td>5,003</td> <td>5,003</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>5,373</td> <td>5,360</td> <td>6,612</td> <td>6,603</td> <td>6,603</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,533</td> <td>0.44人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td>3,498</td> <td>0.61人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,906</td> <td>8,858</td> <td>10,110</td> <td>10,101</td> <td>10,101</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	事業内訳費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	1,360	1,387	1,320	1,600	1,600	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	0	一般財源	千円	4,013	3,973	5,292	5,003	5,003	0	事業費計(A)		千円	5,373	5,360	6,612	6,603	6,603	0	人件費計(B)		千円	2,533	0.44人	3,498	0.61人	3,498	0.61人		投入量(A)+(B)		千円	7,906	8,858	10,110	10,101	10,101																																																																																																																																																																																																																																						
		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
事業内訳費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	県支出金	千円	1,360	1,387	1,320	1,600	1,600	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	その他	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	一般財源	千円	4,013	3,973	5,292	5,003	5,003	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
事業費計(A)		千円	5,373	5,360	6,612	6,603	6,603	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
人件費計(B)		千円	2,533	0.44人	3,498	0.61人	3,498	0.61人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
投入量(A)+(B)		千円	7,906	8,858	10,110	10,101	10,101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年頃、良質米生産をするため、病害防除は一斉に広範囲の水稲作付圃場にわたって行った方が良いとの観点から開始。 ・獣類による被害報告が多数寄せられ、農家の自衛意識の向上を図るため開始。 																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から有人ヘリコプターから無人ヘリコプターの空中散布に切り替わり、農家の実施希望圃場を対象に個々の農家の防除作業受託の形に変化した。 ・イノシシの被害は範囲を含め拡大傾向にある。 																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・農家からは、個々で防除を実施するのは困難なため、無人ヘリによる防除は助かるとの声がある。 ・イノシシ等による被害防止対策事業については、那珂市全域を有害鳥獣捕獲対象区域にしてほしいとの要望がある。 																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	26 日		
事務事業名	園芸振興支援事業			事業類型	補助金					
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ	記入者氏名	島山 智光					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名			1 農業経営の発展						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令				
		05	01	03	園芸振興支援事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要										
【全体概要】 農業者、農産物加工業者、直売所等が主体となるアグリビジネスネットワーク「フェルミエ那珂」とともに、那珂市産野菜等の農畜産物に係る各種PR事業を行う。また、農業者と実需者(流通・飲食関係者等)との交流の場を創設し、新たな営農活動の取組を展開する。 併せて、営農強化のため常陸農業協同組合、ひたちなか・東海・那珂ほし日も協議会への補助を行い、園芸振興を図る。				【業務内容】 那珂かぼちゃのプレスへのPR、農業者と実需者のマッチングフェア、那珂市産野菜サラダバー、曲がり屋ごはん等の施策により那珂市園芸作物の認知度の向上による販路拡大、価値向上を図る。常陸農業協同組合やひたちなか・東海・那珂ほし日も協議会と連携し、かぼちゃ、とうもろこし、にらなどの園芸作物のほか、ほし日も生産の支援とPRを行う。						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
アグリビジネスネットワーク組織「フェルミエ那珂」 ひたちなか・東海・那珂ほし日も協議会那珂支部				フェルミエ那珂	団体	1.	1.	1.	1.	1.
				ほし日も協議会那珂支部	団体	1.	1.	1.	1.	1.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
アグリビジネスネットワーク組織「フェルミエ那珂」に対し、研修の実施、市内外での那珂野菜のPRイベントの開催、実需者とのマッチングを図るマッチングフェアの開催、商談会の参加等による支援をする。 ほし日も協議会那珂支部に対し、品評会の開催、研修の実施、高品質化による高付加価値化の支援をする。また生産環境の向上を図る三ツ星生産運動を推進する。				フェルミエ那珂 活動数(役員会・研修会、イベント)	回	37.	39.	40.	40.	40.
				ほし日も協議会 活動数(役員会・研修会、イベント)	回	27.	22.	28.	28.	28.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
フェルミエ那珂という農業者組織の会員に新たな品種の導入やパッケージデザインの向上研修、加工に向けた取り組み等を支援することで、高い農業所得を見込める魅力ある農業を指向する農家を増やす。ほしにも関しては、協議会員への衛生加工、JAS、ハサップ規格等の情報を提供することで安心安全な三ツ星生産者を増やし、もって信頼の産地づくりを図る。				フェルミエ那珂 会員、賛助会員数	人・団体数	42.	47.	50.	55.	55.
				ほし日も協議会内三ツ星生産者数	人	9.	9.	11.	11.	11.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移										
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	135	152	130	130	0	0	
	一般財源	千円	1,115	1,524	1,438	1,410	1,410	0	0	
	事業費計(A)	千円	1,115	1,659	1,590	1,540	1,540	0	0	
人件費計(B)	千円	3,378	0.57人	3,612	0.59人	3,612	0.59人	3,612	0.59人	
投入量(A)+(B)	千円	4,493	5,271	5,202	5,152	5,152				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		農産物価格の低落・生産量の低下により、生産体制の強化をする必要が出てきたため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		担い手の減少・高齢化、後継者不足、農産物価格の下落、消費者の食に対する安心・安全の意識の高まり。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		JA部会員から、この事業により正しい栽培方法や販売促進等の新たな知識が得られるため部会の必要性を感じるとの意見が寄せられた。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年 5 月 29 日	点検日	年 月 日																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事務事業名	農業活動拠点施設管理事業			事業類型	施設の維持管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ	記入者氏名	廣木 智也																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	基本事業名			1 農業経営の発展																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	農業活動拠点施設管理事業	根拠法令	那珂市農業活動拠点施設設置及び管理に関する条例																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事業概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
【全体概要】 地産地消による地域農業の推進、地域交流・都市交流を図るための農業活動拠点施設の維持管理を行う。						【業務内容】 ・芳野農産物直売所の維持管理 ・芳野農産工房の予約貸出し及び維持管理 ・芳野市民農園の貸出し及び維持管理 ・とんがりはっとの維持管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="6">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設利用者 市民農園</td> <td>施設数</td> <td>件</td> <td>4.</td> <td>4.</td> <td>4.</td> <td>4.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>市民農園総区画数</td> <td>区画</td> <td>100.</td> <td>100.</td> <td>100.</td> <td>100.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="6">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">農産物直売所、農産工房、芳野市民農園の施設管理</td> <td>農産工房利用日数</td> <td>日</td> <td>123.</td> <td>116.</td> <td>180.</td> <td>180.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>市民農園使用区域数</td> <td>区画</td> <td>62.</td> <td>64.</td> <td>70.</td> <td>70.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="6">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地域農業農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域間交流を図ることにより、施設機能を維持し、利用数の増加を図る。</td> <td>農産工房利用率=(利用日数/年間開館日数)</td> <td>%</td> <td>39.9</td> <td>37.7</td> <td>58.4</td> <td>58.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>市民農園使用率=(使用区画数/総区画数)</td> <td>%</td> <td>62.</td> <td>64.</td> <td>70.</td> <td>70.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>芳野直売所年間売上</td> <td>百万円</td> <td>54.66</td> <td>51.52</td> <td>60.</td> <td>60.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>とんがりはっと年間売上</td> <td>百万円</td> <td>102.03</td> <td>105.47</td> <td>120.</td> <td>120.</td> </tr> <tr> <td colspan="12">(2)投入量の推移</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>1,733</td> <td>1,660</td> <td>2,132</td> <td>2,131</td> <td>2,131</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>3,155</td> <td>2,322</td> <td>6,880</td> <td>5,218</td> <td>2,528</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>4,888</td> <td>3,982</td> <td>9,012</td> <td>7,349</td> <td>4,659</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,267</td> <td>0.43人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,155</td> <td>6,579</td> <td>11,609</td> <td>9,946</td> <td>7,256</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="12">(3)事務事業の環境変化・市民意見等</td> </tr> <tr> <td colspan="12">①事業を始めたきっかけ</td> </tr> <tr> <td colspan="12">平成13年4月に開設されたとんがりはっとと共に、農産物直売所が平成19年4月、農産工房、市民農園が平成21年4月に開設されたことにより管理をすることになった。</td> </tr> <tr> <td colspan="12">②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="12">開始時期と比べると、直売所や施設の利用者数が減少傾向にある。</td> </tr> <tr> <td colspan="12">③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="12">非農家(農園利用者)から、手軽に農業とふれあう体験をすることで作物を作る難しさ・楽しさを感じることができるため、市民農園を利用してよかったとの声が寄せられている。</td> </tr> </tbody> </table>														単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						施設利用者 市民農園		施設数	件	4.	4.	4.	4.			市民農園総区画数	区画	100.	100.	100.	100.	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						農産物直売所、農産工房、芳野市民農園の施設管理		農産工房利用日数	日	123.	116.	180.	180.			市民農園使用区域数	区画	62.	64.	70.	70.					0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						地域農業農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域間交流を図ることにより、施設機能を維持し、利用数の増加を図る。		農産工房利用率=(利用日数/年間開館日数)	%	39.9	37.7	58.4	58.4			市民農園使用率=(使用区画数/総区画数)	%	62.	64.	70.	70.			芳野直売所年間売上	百万円	54.66	51.52	60.	60.			とんがりはっと年間売上	百万円	102.03	105.47	120.	120.	(2)投入量の推移												<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>1,733</td> <td>1,660</td> <td>2,132</td> <td>2,131</td> <td>2,131</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>3,155</td> <td>2,322</td> <td>6,880</td> <td>5,218</td> <td>2,528</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>4,888</td> <td>3,982</td> <td>9,012</td> <td>7,349</td> <td>4,659</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,267</td> <td>0.43人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,155</td> <td>6,579</td> <td>11,609</td> <td>9,946</td> <td>7,256</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	1,733	1,660	2,132	2,131	2,131	0	一般財源	千円	3,155	2,322	6,880	5,218	2,528	0	事業費計(A)		千円	4,888	3,982	9,012	7,349	4,659	0	人件費計(B)		千円	2,267	0.43人	2,597	0.46人	2,597	0.46人	投入量(A)+(B)		千円	7,155	6,579	11,609	9,946	7,256		(3)事務事業の環境変化・市民意見等												①事業を始めたきっかけ												平成13年4月に開設されたとんがりはっとと共に、農産物直売所が平成19年4月、農産工房、市民農園が平成21年4月に開設されたことにより管理をすることになった。												②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)												開始時期と比べると、直売所や施設の利用者数が減少傾向にある。												③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)												非農家(農園利用者)から、手軽に農業とふれあう体験をすることで作物を作る難しさ・楽しさを感じることができるため、市民農園を利用してよかったとの声が寄せられている。											
		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施設利用者 市民農園		施設数	件	4.	4.	4.	4.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		市民農園総区画数	区画	100.	100.	100.	100.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
農産物直売所、農産工房、芳野市民農園の施設管理		農産工房利用日数	日	123.	116.	180.	180.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		市民農園使用区域数	区画	62.	64.	70.	70.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地域農業農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域間交流を図ることにより、施設機能を維持し、利用数の増加を図る。		農産工房利用率=(利用日数/年間開館日数)	%	39.9	37.7	58.4	58.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		市民農園使用率=(使用区画数/総区画数)	%	62.	64.	70.	70.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		芳野直売所年間売上	百万円	54.66	51.52	60.	60.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		とんがりはっと年間売上	百万円	102.03	105.47	120.	120.																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
(2)投入量の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(実績)</th> <th>02年度(見込)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>04年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>1,733</td> <td>1,660</td> <td>2,132</td> <td>2,131</td> <td>2,131</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>3,155</td> <td>2,322</td> <td>6,880</td> <td>5,218</td> <td>2,528</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>4,888</td> <td>3,982</td> <td>9,012</td> <td>7,349</td> <td>4,659</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,267</td> <td>0.43人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> <td>2,597</td> <td>0.46人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>7,155</td> <td>6,579</td> <td>11,609</td> <td>9,946</td> <td>7,256</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	1,733	1,660	2,132	2,131	2,131	0	一般財源	千円	3,155	2,322	6,880	5,218	2,528	0	事業費計(A)		千円	4,888	3,982	9,012	7,349	4,659	0	人件費計(B)		千円	2,267	0.43人	2,597	0.46人	2,597	0.46人	投入量(A)+(B)		千円	7,155	6,579	11,609	9,946	7,256																																																																																																																																																																																																																													
		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	その他	千円	1,733	1,660	2,132	2,131	2,131	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般財源	千円	3,155	2,322	6,880	5,218	2,528	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事業費計(A)		千円	4,888	3,982	9,012	7,349	4,659	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
人件費計(B)		千円	2,267	0.43人	2,597	0.46人	2,597	0.46人																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
投入量(A)+(B)		千円	7,155	6,579	11,609	9,946	7,256																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
平成13年4月に開設されたとんがりはっとと共に、農産物直売所が平成19年4月、農産工房、市民農園が平成21年4月に開設されたことにより管理をすることになった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
開始時期と比べると、直売所や施設の利用者数が減少傾向にある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
非農家(農園利用者)から、手軽に農業とふれあう体験をすることで作物を作る難しさ・楽しさを感じることができるため、市民農園を利用してよかったとの声が寄せられている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年 5 月 28 日	点検日	年 月 日				
事務事業名	人・農地プラン推進事業			事業類型	委員会の開催							
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	茅根 翠								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業					
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	1 農業経営の発展										
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 03	事業名 人・農地プラン推進事業	根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要												
【全体概要】 集落・地域が抱える人と農地の問題を一体的に解決するため「人・農地プラン」を作成し、持続可能な力強い農業を実現する。				【業務内容】 ・「人・農地プラン」の活用や認定新規就農者の参入並びに認定農業者の認定及び取消し等に伴う随時修正 ・令和2年度末までに既存のプランを実質化させるため、農業委員会と協力してアンケート調査を行い、話し合いのもととなる地図の作成を行う。 ・地域における農業の問題点を出し合い、解決への契機とするための地域座談会を開催								
【人・農地プランの策定】 策定委員会 委員9人 任期 H30.3.23～R2.3.22(2年間) ※農業委員、土地改良区役員、農業者代表、農業団体代表、												
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)、農地			認定農業者数		人	89.	91.	93.	95.	97.		
						0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
検討委員会及び地域座談会の開催 農地集積の促進			人・農地プラン検討委員会		回	1.	1.	1.	1.	1.		
			人・農地プラン地域座談会		回	8.	0.	8.	8.	8.		
			人・農地プラン地域座談会 参加者数		人	160.	0.	160.	160.	160.		
						0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
認定農業者や集落営農組織等の育成・確保、農地の集積			担い手の集積面積		ha	847.	865.	880.	890.	900.		
			認定農業者等の経営面積		ha	793.	813.	820.	830.	840.		
						0.	0.	0.	0.	0.		
						0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移												
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	32	18	120	128	128	128	128	0		
	事業費計(A)	千円	32	18	120	128	128	128	128	0		
人件費計(B)	千円	1,532	0.27人	731	0.13人	731	0.13人	731	0.13人			
投入量(A)+(B)	千円	1,564		749		851		859		859		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			地域農業を担う経営体を確保し力強い農業構造を実現するために、国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により、人・農地プランを作成し、農業の競争力、体質強化を図り、持続可能な農業を実現するため実施する。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			農業次世代人材投資事業(経営開始型)や経営体育成支援事業、スーパーL資金の5年間無利子化等、国の支援を受けるため、人・農地プランにより地域の中心となる経営体としての位置づけが必須となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			認定新規就農者や農地を集積して経営の効率化を図る者、耕作放棄地を解消する者等、農業者から国の支援を受けられる事業があれば活用したいとの要望がある。									

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	27日		
点検日					年	月	日			
事務事業名	6次産業化推進事業			事業類型	事業の推進					
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ	記入者氏名	曲山 康平					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名			1 農業経営の発展						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令				
		05	01	03	6次産業化推進事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要										
【全体概要】 那珂市農業の6次産業化を推進し、農業所得の向上と地域農業の活性化につなげる。 意欲ある生産者の産品開発支援とPRにより、販売チャンネルの拡大を図る。				【業務内容】 6次産業化推進に係る各種取り組みの推進 ①米ゲル製品化の推進 ・6次産業化等産品販路支援事業 ②農産物の加工による農家所得向上への取り組み支援 ・ほしimo、ドライトマトなど ③米粉パン、米の特殊加工技術等の穀物を使用した加工食品を学校給食に提供し、原材料費の差額を負担する。						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市内農産物を使用して産品開発をする取組業者		米ゲル産品開発取組業者数	事業所	10.	12.	12.	12.	12.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
○米ゲル技術を活用した産品開発の支援及び販路拡大支援		米ゲルを活用した開発数	品	12.	15.	15.	15.	15.		
○農産物加工品開発に取り組む農家への支援		その他農産物を活用する商品の開発数	品	50.	53.	53.	53.	53.		
○給食への米粉パン提供		ほしimo協議会加入農家数	経営体	27.	26.	26.	26.	26.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
○那珂市産の新規需要米「モミロマン」から作った「米ゲル」を活用した産品開発数の増加		米ゲルを活用した商品数	品	10.	12.	12.	12.	12.		
○市内農産物を使用した商品の開発により、消費の拡大と農業の振興が図られる		農産物の加工に取り組む経営体数	経営体	50.	53.	53.	53.	53.		
		フェルミエ那珂加入経営体数	経営体	41.	45.	45.	45.	45.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移										
	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費			
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,148	1,001	1,272	1,623	1,623	0	0	0
	事業費計(A)	千円	1,148	1,001	1,272	1,623	1,623	0	0	0
人件費計(B)	千円	3,030	2,726	2,726	2,726	2,726	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
投入量(A)+(B)	千円	4,178	3,727	3,998	4,349	4,349				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		食品添加物や油分を減らしたり風味を豊かにする効果がある先進食品素材「米ゲル」を活用した産品開発を支援することで、米の消費拡大と農業の6次産業化をととした農業の振興を図ることができること。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		海外産の小麦を原料としたパンや麺類などの消費量が増え、国内産米の消費量は全国的に減少傾向である一方、食の安全志向による地産地消、アレルギー対策、食品添加物への関心が高まっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		米ゲル製品の風味や食感の良さを評価する声が寄せられている。また、業者からは加工のしやすさや日持ちの良さが評価されているほか、遠方からの問合せもあるなど市への入込客数の増加を期待する声も寄せられている。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	26 日
事務事業名	土地改良推進事業				事業類型	事業の推進		
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	齋藤 郁				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 05	事業名 土地改良推進事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 日本型直接支払交付金に関する事務、土地改良事業の調査同意、事業同意、説明会を開催し、事業の推進を図る。					【業務内容】 ・多面的機能支払交付金 ・県営事業の調査同意、事業同意、説明会等			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
農業振興地域内の農用地	農振農用地面積	ha	2223.	2199.	2199.	2199.	2199.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・県営土地改良事業の推進(新規要望地区の取りまとめ)や事業採択同意の取得等。 ・多面的機能支払制度における活動計画、実施状況、事業成果の確認作業等。 ・負担金及び補助金の申請、支払手続き等。	事業推進地区面積	ha	362.	317.1	317.1	95.	0.	
	事業推進地区数	地区	6.	5.	5.	3.	0.	
	多面的活動組織数	組織	22.	22.	21.	22.	22.	
	多面的活動農用地面積	ha	898.	929.14	926.05	926.05	926.05	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
再基盤整備事業の推進を図り、農業の多面的機能の発揮のため地域活動に対して支援する。もって、地域の農地を維持するとともに、担い手への農地集積を後押しする。	事業推進率	%	16.28	14.42	14.42	4.32	0.	
	多面的活動カバー率	%	40.4	42.25	42.11	42.11	42.11	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	22,177	22,007	24,669	25,136	25,136	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,715	13,183	23,701	18,063	15,673	0
	事業費計(A)	千円	38,892	35,190	48,370	43,199	40,809	0
人件費計(B)	千円	5,410	5,510	5,510	5,510	5,510	1.00人	1.00人
投入量(A)+(B)	千円	44,302	40,700	53,880	48,709	46,319		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	基盤整備後数十年が経過し、施設の改修、効率的、安定的な農業経営の確立が必要となった。農業者の高齢化や耕作放棄地の増加等農村の構造変化に対応した体制の強化や地域の農村環境保全のための活動を支援するため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農業施設の老朽化、農業者の高齢化や不作付地の増加、後継者不足等の問題が出ている。多面的機能支払制度が法制化され、活動組織が増え、農地や農業施設等の地域資源の維持管理を適切に行なえるようになってきた。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	担い手への土地利用集積を実施するために再基盤整備の要望がある。土地改良施設の維持管理は受益者や地域住民がこれまでも実施してきたものであり、これらに対する支援制度に積極的に取り組みたいとの要望がある。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	20 日
事務事業名	局所土地改良事業				事業類型	維持管理	点検日	年
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	川又 康史				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 05	事業名 局所土地改良事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 災害等の突発的なものや、経年劣化によって機能に支障が生じた土地改良施設(農道・排水路・溜池)の復旧及び保全・管理を行う。					【業務内容】 機能に支障が生じた土地改良施設に対しての地元からの要望・申請、市パトロールなど災害現場危険度の確認。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設	災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設箇所数	箇所	22	25	25	25	25	
			0	0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
土地改良施設復旧工事	改善箇所数	箇所	22	29	25	25	25	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
土地改良施設の機能を復旧、保管理することにより、安心して安全な農業基盤を確保し、農業に支障なく従事できるようにする。	改善率=改善箇所数/対象箇所数	%	100	100	100	100	100	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
(2) 投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	5,000	0	0	0
	一般財源	千円	7,501	9,626	5,382	11,482	11,482	0
	事業費計(A)	千円	7,501	9,626	10,382	11,482	11,482	0
人件費計(B)	千円	4,800	4,950	4,950	4,950	4,950	1,000	1,000
投入量(A)+(B)	千円	12,301	14,576	15,332	16,432	16,432		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	整備された土地改良施設に対して機能に支障が生じた時の復旧や維持管理を行う必要があるため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	土地改良施設において老朽化の進んだ施設が多くなってきており、今後の維持管理費が増大していく。ほ場整備事業で多く採用されたコルゲート管について腐食等による陥没があり、補修の必要がある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	土地改良施設の維持管理の多くが、これまでは受益者自身の賦役で行なわれてきたが、高齢化や後継者不足のため、補修、除草などについても行政の対応を求める要望が多くなっている。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	27 日
事務事業名	那珂川沿岸農業水利事業			事業類型	負担金・補助金			
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G	記入者氏名	齋藤 郁			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る				
	基本事業名			5 生産基盤の整備と保全				
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		05	01	05	那珂川沿岸農業水利事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成23年度～令和6年度)	
事業概要								
【全体概要】 那珂川沿岸受益者の安定的な農業用水を提供するため国営事業、県営事業により施工する、ダム、揚水機場、用水路等土地基盤整備事業費の一部を負担する。					【業務内容】 事業費は、事業の推進及び事業費負担金として支出される。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
国営事業(那珂市対象受益地)	推進すべき受益地面積	ha	239.	239.	239.	239.	239.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
国営事業に係る事業費等の負担金を支払い、基幹となる施設整備を促進する。	負担金支払進捗率	%	57.95	65.17	72.4	79.63	87.18	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
那珂川流域の農業の活性化 農業用水を確保し、農業生産性を向上させ、農業経営を安定させる。	事業進捗率	%	74.6	77.	80.	83.	86.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	11,662	11,396	11,537	11,537	11,976	137,393
	事業費計(A)	千円	11,662	11,396	11,537	11,537	11,976	137,393
人件費計(B)	千円	5,260	4,770	4,770	4,770	4,770		
		1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
投入量(A)+(B)	千円	16,922	16,166	16,307	16,307	16,746		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂川沿岸地区は水田や畑で用水不足のうえ、ほ場が狭小で、水利施設も老朽化していたため、平成4年より那珂川、御前山ダムに水源を求める国営事業を開始。それに伴い基盤整備を実施し農業経営の安定化をはかる。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農業、農村をとりまく情勢は高齢化や後継者不足等変化している。国に対し県・関係市町村は、関連事業と十分に調整を図り効果の発現が遅れないよう要望しているが、関係機関との調整等が難航し事業は長期化している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	受益者からは早期完了が望まれているが、国営事業で工事が広範囲のため、地元との調整に期間を要すること、予算の措置の関係で事業進捗が遅れている。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	20 日			
事務事業名	土地改良基盤整備事業				事業類型	工事					
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	畔野 朋哉							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	土地改良基盤整備事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 農業農村の振興を図るために、土地改良事業(農道、かんがい排水、溜池等)の整備を行う。また、県営事業(農道、かんがい排水路、区画整理、排水機場、農業活動拠点施設)で行う事業費の一部を負担する。事業費は、農道、かんがい排水、溜池等の設計委託費、改良工事費、県営事業負担金として支出される。						【業務内容】 ①地元からの要望・陳情を採択 ②実施計画への計上 ③補助の手法手続き ④補助事業の実施設計 ⑤借地契約及び工事説明会 ⑥工事等					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
農業振興地域の農用地で基盤整備未実施面積 農業用施設(排水路、溜池)で改修が必要な箇所	農用地面積	ha	2446.	2446.	2446.	2446.	2446.		
	排水路・溜池(再)整備箇所	箇所	310.	310.	310.	310.	310.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
①事業内容についての検討(県、改良区等との打合せ他)	農用地整備面積	ha	1925.	1925.	1925.	1925.	1925.		
②法的な同意等の手続き(調査、説明会実施、同意取得、議会承認等)	排水路単年度(再)整備延長	m	1038.3	606.7	1655.	1150.	1070.		
③実施設計委託、工事等	排水路横断(再)整備箇所	箇所	3.	3.	3.	3.	3.		
	溜池(再)整備箇所	箇所	1.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
農用地における環境整備を行うことにより、排水路整備による乾田化や溜池整備による用水の安定供給ができ、農地の耕作利便性が向し、農業生産基盤の強化になる。	農用地整備率	%	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7		
	排水路単年度(再)整備率	%	100.	100.	100.	100.	100.		
	排水路横断(再)整備済箇所	箇所	188.	191.	194.	197.	200.		
	溜池(再)整備済箇所	箇所	37.	38.	38.	38.	38.		
(2) 投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	34,285	11,115	21,045	14,469	15,655		
	地方債	千円	11,400	7,400	12,300	20,900	29,000		
	その他	千円	0	0	25,000	0	0		
	一般財源	千円	68,752	56,270	19,505	39,293	42,214		
	事業費計(A)	千円	114,437	74,785	77,850	74,662	86,869	0	
人件費計(B)	千円	6,110	1.20人	5,270	1.10人	5,270	1.10人	5,270	1.10人
投入量(A)+(B)	千円	120,547	80,055	83,120	79,932	92,139			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	土地改良施設に対する地元団体(土地改良区等)や受益者からの要望による。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか)変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	国、県の予算措置が要望額どおりにつかず、事業費が増大する傾向にある。受益者の高齢化により農地、農業施設の管理不十分となり、耕作放棄地が増加する問題がある。土地改良法改正により、環境配慮した整備が義務化された。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	早期の事業竣工や新たに事業として採択を望む声がある。(年度予算への要望)								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	25 日
事務事業名	経営所得安定対策事務費			事業類型	団体補助			
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備グループ	記入者氏名	平松 あゆみ			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る				
	基本事業名			2 安全な食料の安定供給				
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	米政策改革基本要綱	
		05	01	08	経営所得安定対策事務費			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 経営所得安定対策の周知及び米の消費拡大のPRを実施する。					【業務内容】 経営所得安定対策制度のもと、米の需給調整の円滑な実施を 促し米価と農業経営の安定を図る。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稲生産農家	水稲生産農家戸数	戸	3949.	3849.	3850.	3850.	3850.	
	水田総面積	ha	1900.	1900.	1862.	1860.	1860.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
経営所得安定対策制度の周知のため、全農家へパンフレットを配布し、地区説明会、転作団地組合で説明を行う。 また、経営所得安定対策の事務を行う市農業再生協議会に対し、運営費補助を行う。	転作面積(休耕地含み)	ha	507.	475.	480.	480.	480.	
	説明会開催数	回	5.	5.	0.	5.	5.	
	計画書提出件数	件	1607.	1669.	1650.	1650.	1650.	
	市農業再生協議会への運営費補助	千円	19975.	8913.	8555.	8555.	8555.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
需給調整を図り、水稲作付可能な生産数量目標の達成をもって農業経営の安定化を図る。	水稲作付率=(実施水稲作付面積/計画水稲作付面積)	%	118.	121.	121.	121.	121.	
	米価(コシヒカリJA米紙袋1等)	円 /30kg	6850.	6850.	6850.	6500.	6500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	19,375	8,313	9,040	9,040	9,040	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	734	752	781	781	781	0
	事業費計(A)	千円	20,109	9,065	9,821	9,821	9,821	0
人件費計(B)	千円	4,790	5,240	5,240	5,240	5,240		
		0.80人	0.90人	0.90人	0.90人	0.90人		
投入量(A)+(B)	千円	24,899	14,305	15,061	15,061	15,061		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	米の過剰生産を調整するため水稲生産農家を対象に減反を推進していた。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	経営所得安定対策制度は生産した数量に対しての保障制度である。米の所得補償対象者は、生産数量目標達成者であるため平成17年度より戸別推進がなくなった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	生産調整事業の実施によって、平成26年の価格下落を底に価格が持ち直し、経営の安定につながっている。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	25 日
事務事業名	経営所得安定対策奨励補助事業			事業類型	補助金			
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	平松 あゆみ				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名	2 安全な食料の安定供給						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 08	事業名 経営所得安定対策奨励補助事業	根拠法令	米政策改革基本要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 転作団地を中心とする生産性及び品質の向上を目指した転作実施者に対して、市転作補助金を交付し、米の生産調整の円滑な推進を図る。					【業務内容】 農業者が作成する営農計画書に基づき現地確認を実施し、転作の形態及び転作面積に応じて補助金を交付する。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稻生産農家	水稻生産農家戸数	戸	3949.	3849.	3850.	3850.	3850.	
	水田総面積	ha	1900.	1862.	1860.	1860.	1860.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
現地確認結果に基づく転作実施内容及び地域の活動状況に応じて転作奨励補助金を交付する。	補助金交付件数	件	814.	797.	800.	800.	800.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
農家自らが生産調整のための転作に主体的に取り組むことにより農業経営の安定を図る。	生産調整実施面積	ha	507.	475.	480.	480.	480.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	54,251	41,547	54,754	57,000	54,000	0
	事業費計(A)	千円	54,251	41,547	54,754	57,000	54,000	0
人件費計(B)	千円	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	1.00人	
投入量(A)+(B)	千円	60,351	47,747	60,954	63,200	60,200		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	昭和53年から米の生産調整(減反)政策、平成23年度からは農業者戸別所得補償制度が実施され、平成25年度から経営所得安定対策制度に名称が変更になった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	これまでの米の減反政策に代わって、水田を活用して麦・大豆・そば・飼料用米・新規需要米等の戦略作物を推奨し、食糧自給率の向上を目指す施策となった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	水稻以外の作物の生産を増加させるには、圃場の維持管理や整備等が重要である。また、最近の異常気象等による単収低下及び品質低下が顕著で、これらの克服が課題となっている。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	29日
事務事業名	商工会補助事業				事業類型	補助金	点検日	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	寺門 賢一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名	1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 商工会補助事業	根拠法令	那珂市商工会事業費補助金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 中小企業者の経営改善及び近代化・合理化を図るため、那珂市商工会に対し補助を行い、各種指導・相談業務の強化を支援し、中小企業の活性化を促進する。					【業務内容】 那珂市商工会への補助金交付事務 ・事業費補助			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内中小企業の経営者(商工会員)	事業所数(経済センサス調査/活動調査)	箇所	2009.	1887.	1887.	1887.	1887.
	商工会会員数	名	1087.	1063.	1063.	1063.	1063.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・運営補助及び斡旋委託 (人件費補助、事業費補助)	商工会支部・部会等事業開催回数	会	49.	48.	48.	48.	48.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・経営の改善及び近代化、合理化を図る ・競争力の向上を図る ・地域雇用の創出、安定化を図る	金融斡旋事業(貸付件数)	件	129.	151.	151.	151.	151.
	指導及び相談件数	件	2000.	2158.	2158.	2158.	2158.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	事業費計(A)	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	人件費計(B)	千円	1,160	1,760	1,760	1,760	1,760
		0.20人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	
投入量(A)+(B)	千円	14,160	14,760	14,760	14,760	14,760	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	地域の経済団体の中心的存在である商工会の活動をより活性化させることで、市内中小企業振興の底上げを図ることができる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、商工会の会員数の減少等により財政運営は厳しくなっており、県商工会連合会への人事一元化による正規職員数の適正化や積立金等の取り崩しによる財政確保など、より効率的な団体運営に努めている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	29 日
事務事業名	がんばる商店街支援事業				事業類型	補助金	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	寺門 賢一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名	1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 がんばる商店街支援事業	根拠法令	那珂市商業活性化事業費補助 金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成26 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 意欲的な商業者団体等の取り組みへの支援を行い、個店の魅力 及び競争力の向上やまちなかの賑わい創出を図るとともに、その 成果を他へ波及させ、商業者全体の底上げを図る。					【業務内容】 那珂市商工会や市内商業者・任意団体等に対する補助金交 付事務 ・補助率 市:1/3(ただし上限額 500,000円)、事業主体:2/3 ・補助期間 :1年間(最大3年間まで継続可能)			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内商業者(卸売業・小売業・サービス業・飲食業)の団体	事業所数(経済センサ調査 /H28活動調査)	箇所	958.	1054.	1054.	1054.	1054.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・意欲的な取組に対して資金補助を行い支援する。 (事業費補助)	商業活性化事業取組団体数	団体	1.	1.	1.	1.	1.
	商業活性化イベント開催回数	回	6.	5.	6.	6.	6.
	補助件数	件	0.	1.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・個店の店舗力(商品力・サービス力)を強化し、来店者数や売上高の回復・増加を図る。・意欲的な商業者による取組み拡大により、市内外からの来街者数を増加させ、地域商業の活性化を図る。	年間商品販売額(H28茨城の商業統計報)	万円	6656779.	7556364.	7556364.	7556364.	7556364.
	商工会員数の内、商業部会員数(卸売業、小売業)	名	239.	223.	223.	223.	223.
	商工会員数の内、サービス部会員数(飲食業、サービス)	名	349.	347.	347.	347.	347.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	115	250	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	115	250	500	500
	事業費計(A)	千円	0	230	500	500	500
人件費計(B)	千円	930	0.20人	480	0.10人	480	0.10人
投入量(A)+(B)	千円	930	710	980	980	980	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市には商店街の形成がなく、商店街を中心とした活性化策が機能しないため、個店の魅力及び競争力を向上させる施策として、分散型商業地域でも効果を期待できる「一店逸品事業」に取り組むこととなった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	市内の小売業者は、大規模小売店舗等の市内・近隣地域への出店等の影響により、減少傾向が顕著である。また、商業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、依然として復調の兆しを見出せていない。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	商業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	6 月	1 日
事務事業名	特産品ブランド化推進事業				事業類型	活動支援	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名	1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 特産品ブランド化推進事業	根拠法令	那珂市特産品ブランド認証要 項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成26 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める認証基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証して、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールし、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図る。					【業務内容】 那珂市特産品のブランド認定システムの運営 ・推進協議会及び認証委員会の運営 ・認証品パンフレットの作成 ・認証品のPR活動 ・販路拡大 等			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内特産品を生産及び加工する事業者	商工会部会会員数(商業・サービス業)	人	588.	570.	570.	570.	570.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
認証品の募集をする。 認証品についてはPR活動を行う。	申請件数	件	12.	10.	10.	10.	10.
	認証品PR実施回数	回	25.	30.	30.	30.	30.
	認証件数	件	32.	31.	31.	31.	31.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
事業者に対し、特産品の意識啓発を図り特産品の積極的な掘り起し及び開発を促進させる。ブランド品はPR活動を通してイメージ向上と販路拡大をし、市の産業の発展に繋げる。	新規認証件数	件	4.	1.	1.	1.	1.
	更新認証件数	件	8.	9.	9.	9.	9.
	特産品ブランドコーナー設置店舗	店舗	1.	1.	1.	1.	1.
	特産品ブランドコーナー設置店舗売上	万円	403.	350.	350.	350.	350.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	23	21	10	10	10
	一般財源	千円	936	720	1,320	1,320	1,320
	事業費計(A)	千円	959	741	1,330	1,330	1,330
人件費計(B)	千円	2,820	0.50人	2,560	0.50人	2,560	0.50人
投入量(A)+(B)	千円	3,779	3,301	3,890	3,890	3,890	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市における地域資源を活用した商品づくり、それらに関する情報発信及び維持向上を図るため、地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業の活性化に資するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	一時の特産品ブランド化のブームは沈静化の傾向にある。これまでの活動により市民には認知されてきている。商品によっては、個々の事情により販売ができないものがある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	ブランド認証された業者から、「売り上げアップにつながった」、「店頭に並んだ際に同様な商品と差別化が図られた」などの意見をいただいている。事業者により販路拡大への意欲は差が出てきている。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	6 月	1 日
事務事業名	産業祭事業				事業類型	補助金	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名	1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 産業祭事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成27 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 商工会や農業団体、事業者などが連携し、地元農産物や商工業製品等の展示販売し、市内の産業をPRする産業祭開催の支援を実施					【業務内容】 産業祭実施のための補助			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民及び近隣市町村民 市内の商工業者	人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.		
	市内商工業者(商工会部会員)	人	318.	301.	301.	301.	301.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
実行委員会を組織し、補助する。 実行委員会が産業祭の開催を運営する。	実行委員会開催数	回	4.	3.	3.	3.	3.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市内の産業を広く紹介し、事業者・生産者と消費者の交流機会を創出するとともに、多くの人に来場してもらう。 ※令和元年度は台風の影響により中止。	来場者	人	8500.	0.	8500.	8500.	8500.		
	参加事業者数	事業者	63.	0.	50.	50.	50.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,480	271	2,100	2,100	2,100	0	
	事業費計(A)	千円	2,480	271	2,100	2,100	2,100	0	
人件費計(B)	千円	2,590	0.50人	2,130	0.45人	2,130	0.45人	2,130	0.45人
投入量(A)+(B)	千円	5,070	2,401	4,230	4,230	4,230			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	商工会、農業団体、事業者などが連携をすることにより、地元農産物や製品などを多くPRすることができるためH27から開催している。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農商工の事業者と市民との交流の場として賑わいを見せているが、秋に開催される近隣の他のイベントと時期が重なり集客力が伸び悩んでいる。参加事業者も分散傾向にある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	イベント参加を通して同業種との横の連携などの良い機会となったとの意見をいただいている。カミスガとの合同開催の声がある。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	1日
事務事業名	よろず相談事業				事業類型	専門員配置	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名	3 雇用対策の促進						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 よろず相談事業	根拠法令	那珂市中小企業者販路拡大事業費補助金交付要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成28年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 商工観光課に企業コーディネーターを配置し、ワンストップの相談窓口を設けることで、起業における相談、支援や企業支援に対する窓口業務の強化並びに一本化を図る。					【業務内容】 専門員による窓口相談業務及び企業訪問業務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市内企業及び創業予定者	事業所数(経済センサス/H28活動調査)	箇所	2009.	1887.	1887.	1887.	1887.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市役所内に相談窓口の設置 市内企業の訪問	市内企業数	件	209.	230.	230.	230.	230.	
	訪問及び相談件数	件	843.	1149.	1149.	1149.	1149.	
	コーディネーター配置数	人	2.	2.	2.	2.	2.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
企業における経営上の問題解決を支援する 創業を支援する	問題対応数	件	496.	602.	602.	602.	602.	
	創業支援者数	人	2.	6.	6.	6.	6.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	3,745	3,817	11,827	3,900	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,029	4,842	12,478	5,697	9,597	0
	事業費計(A)	千円	7,774	8,659	24,305	9,597	9,597	0
	人件費計(B)	千円	3,170	3,520	3,520	3,520	3,520	0.70人
投入量(A)+(B)	千円	10,944	12,179	27,825	13,117	13,117		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市と企業の「顔の見える関係」づくりを進めるにあたり、専門家を配置し企業の様々な相談に応じるなどの支援を行うために、まちひとしごと総合戦略策定を契機に平成28年度から事業を開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい情勢であり、企業力強化に向けた支援が必要とされている。事業主の高齢化による事業承継の支援や、テレワーク等の職場環境の変化への対応が求められている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	コーディネーターと経営者が話しながら課題等を整理していくことができ、今後も様々な企業の相談を聞いてほしい等の意見がある。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	新たな企業の訪問や、関係支援機関と綿密な連携を図り継続的な支援を行ってきたことにより事業者との信頼関係が構築されている。経営者の高齢に伴う事業継続への支援ニーズに対応した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内企業を対象としたマッチング、販路拡大、事業承継など様々な事業者の課題解決を支援することから、市関与は妥当である。
② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 企業コーディネーターの活動の周知を図ることで訪問企業をさらに増やし、企業ニーズに応じた支援を行う。
③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。市内企業を支援するための事業であるため、休廃止はできない。
④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 課題を抱える事業者が増えている中、現在のコーディネート体制を維持する委託料は増加傾向にある。人件費は、必要最小限の人員で事業量の増加に対応しており削減余地はない。
⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市内の中小企業に対し幅広い支援を行うことで、企業活動の維持や活性化を目的としているものであり、負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 事業者の課題などに伴走型の支援をしていくことにより、課題解決に向けての支援をしていく。また、販路拡大につながる国や市の補助金等の利用を事業者へPRしていく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)
 今後も企業訪問、窓口相談等により事業者並びに創業希望者に継続的な支援を行っていくとともに、次年度(令和2年度)整備予定の操業支援施設の積極的活用を促し、市内産業の活性化につなげていきたい。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	29日
事務事業名	観光事務費				事業類型	総務事務	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	3 観光情報の発信						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 観光事務費	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 定住人口の増加が伸び悩むなか、「地域産業の活性化」や「郷土愛の醸成」を目的とした観光振興をすすめることで交流人口増加を図る。					【業務内容】 観光振興を図るため、観光PR用パンフレット作成、各種観光キャンペーンや観光事業を共同で行う協議会への参加。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
観光客及び市民	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
観光PRイベントへの参加、観光パンフレットの作成、加入協議会や実行委員等との連携、観光事務事業の遂行に必要なツールの活用をすることで、観光資源のPRを行う。	市HP更新回数	回	107.	120.	120.	120.	120.		
	パンフレット印刷部数	冊	60000.	20000.	35000.	35000.	35000.		
	加入協議会・委員会数	団体	4.	4.	4.	4.	4.		
	観光PRイベント参加回数	回	30.	30.	30.	30.	30.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・観光客の増加を目指す。	市HP閲覧者数(年間)	回	6800.	10068.	11000.	11000.	11000.		
	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.		
	茨城県植物園入込客数	人	57234.	50746.	30960.	51000.	51000.		
	那珂のひなまつり入込客数	人	41036.	33444.	42000.	42000.	42000.		
(2) 投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,881	4,712	4,712	4,712	4,712	0	
	事業費計(A)	千円	6,881	4,712	4,712	4,712	4,712	0	
人件費計(B)	千円	2,635	0.55人	3,100	0.55人	3,100	0.55人	3,100	0.55人
投入量(A)+(B)	千円	9,516	7,812	7,812	7,812	7,812			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	那珂市の地域資源を活用した観光振興を図るため、各種観光情報を発信するために必要な事務が必要となった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	観光資源発掘や活用、知名度向上等の観点から、多くの周辺自治体が観光振興を重要施策として位置付けている。いばらき県央地域市町村が連携した周遊型観光推進やフィルムコミッション事業へも注目が集まっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	那珂ふるさと大使や那珂市観光協会役員等より、積極的に観光キャンペーンやマスメディアを利用し、那珂市をアピールする機会を設けるようにとの声がある。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業は関係機関と連携しながら観光振興を行うことで成果の向上が期待できるが、民間事業者等では、その役割を担っていく対応が困難であるため、市が関与していくことは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 加入しているいばらき県中央観光協議会等を利用し、市単独ではなく周辺地域と連携した様々な方法や場所でPRを行い、観光客の呼び込みを図る必要がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関係機関と連携し観光振興を図る類似事業が他にないことから、統廃合の余地がない。廃止・休止した場合は、加入している協議会や委員会等と連携した観光PRの機会を失い、観光客・交流人口の減につながるため休廃止できない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費については、積極的な観光振興を行うため、観光PRキャンペーン参加回数が増加しているが、必要最低限の経費で見積もっているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市の観光振興に係る事務経費のため、受益者に該当するものはない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																				
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 情報発信の方法について改善・強化を図り、観光資源のPRを行うことで観光客数の増加につなげる。加入しているいばらき県中央観光協議会等を活用し、市単独ではなく周辺地域と連携したPR活動を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下			×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持			×																	
低下			×																	

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市のシティプロモーション担当課とも連携しフェイスブックやツイッターなどの情報媒体をフルに使う。市の観光資源やイベント情報をより詳細に発信する。 また、周辺地域との連携も含め、市のイベント等で相乗効果があるものについては積極的に関与し、PR活動を行う。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	29 日
事務事業名	なかひまわりフェスティバル事業				事業類型	補助金		
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	1 観光イベントによる地域活性化						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 なかひまわりフェスティバル事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂総合公園を会場に、市の花「ひまわり」をシンボルとしたイベントを実施。 また、公園周辺の畑4.3haに25万本のひまわりを咲かせ、市民参加によるイベントを開催する。				【業務内容】 イベント及び花火大会の運営補助及びひまわり畑の作付け				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
観光客及び市民	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席、運営支援。	ひまわり作付面積	ha	4.	4.3	4.3	4.3	4.3
ひまわりの耕作委託に関する事務。 会場までのシャトルバス委託業務。 ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度のひまわりフェスティバルの開催は中止となった。	チラシ作成部数	部	32000.	40000.	0.	40000.	40000.
	HP更新回数	回	20.	20.	20.	20.	20.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・多くの方に来場してもらい楽しんでもらう。 ・那珂市の良さを知ってもらえるよう来場者を増やす。 ・那珂市に訪れてもらうことで市の活性化を図る。	なかひまわりフェスティバル 来場者数	人	33000.	36000.	0.	40000.	40000.
	市HP閲覧者数(年間)	回	6800.	10068.	11000.	11000.	11000.
	参加団体数	団体	96.	132.	0.	132.	132.
	年間入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,197	12,794	12,794	12,794	12,794
	事業費計(A)	千円	13,197	12,794	12,794	12,794	12,794
人件費計(B)	千円	2,285	2,805	2,805	2,805	2,805	0.45人 0.50人 0.50人
投入量(A)+(B)	千円	15,482	15,599	15,599	15,599	15,599	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	・旧那珂町の花「ひまわり」(昭和60年制定、現在は市の花)を周知することにより、町をPRする手段として開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・多年にわたるPR活動やインターネットの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外県外の住民にも周知され、多くの観光客が訪れるようになった。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・夏のひまわりから種を収穫、搾取し「ひまわりオイル」として、毎年流通できるようにしてほしい。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	25 日
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助金	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	片山 太一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	3 観光情報の発信						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 団体補助事業	根拠法令	那珂市補助金等交付規則	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂市の観光振興のための各種イベントの主催・共催並びに広報活動・観光施設整備等に対して助成を行う。					【業務内容】 ・観光協会の事務・各種イベント(八重桜まつり、月見の会、なかひまわりフェスティバル等)			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
	観光協会会員数		223.	229.	240.	250.	250.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・補助金を交付することによりイベント主催・共催・後援、観光PR活動、観光地保全及び整備を実施する。	主催・共催したイベント数	回	5.	5.	3.	5.	5.
	観光PR実施回数	回	42.	39.	30.	40.	40.
	観光協会HP更新回数	回	109.	169.	180.	200.	200.
	観光案内看板設置箇所数	箇所	22.	22.	22.	22.	22.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客に当市を知ってもらい観光客を増やす	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.
	年間観光協会HP閲覧数	回	534703.	688090.	600000.	625000.	650000.
		人	0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,500	3,500	1,630	3,500	3,500
	事業費計(A)	千円	3,500	3,500	1,630	3,500	3,500
人件費計(B)	千円	2,985	2,880	2,880	2,880	2,880	
			0.65人	0.55人	0.55人	0.55人	
投入量(A)+(B)	千円	6,485	6,380	4,510	6,380	6,380	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	観光振興と文化の発展を図るため昭和31年に発足した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	交通網の発展により、市外から多くの観光客が訪れることができるようになった。また、多年にわたるPR活動の実施やSNSの普及により、イベントを地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できる機会が増えた。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	案内看板等の設置、ホームページの最新情報掲載、自主財源の確保・法人化、市内を周遊できるようサイクリングコース整備等の意見がある。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	31日
事務事業名	清水洞の上整備事業				事業類型	施設の運営、維持管理		
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 清水洞の上整備事業	根拠法令	清水洞の上公園設置及び管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 豊かな自然が残る清水洞の上地区を、様々な生物が生息し、市民がくつろげ、自然を生かした自然体験学習ができる貴重な場所として整備を進める。					【業務内容】 ・清水洞の上自然を守る会との連携・公園の維持管理 ・第2次計画区域の整備 ・用地買収取得			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び来園者 公園	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.	
	公園面積	ha	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
公園内の維持管理及び清水洞の上自然を守る会との連携 第2次計画区域(3.7ha)の用地取得・整備工事	守る会の作業回数	回	23.	22.	22.	22.	22.	
	公園パンフレット作成枚数	枚	2000.	2000.	2000.	2000.	2000.	
	用地取得面積	ha	0.	0.	0.18	0.53	1.45	
	工事発注件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
清水洞の上地区を知ってもらい観光客を増やす・郷土愛を育む・市民活動の活性化を図る 2次計画区域を整備する	ほたる観賞会来場者数	人	1500.	0.	0.	1500.	1500.	
	守る会会員数	人	186.	186.	200.	200.	200.	
	作業参加者数(延べ人数)	人	500.	448.	500.	500.	500.	
	第2次計画区域の整備状況(整備面積)	%	50.	50.	50.	50.	50.	
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	650	729	6,133	3,785	8,921	0
	事業費計(A)	千円	650	729	6,133	3,785	8,921	0
人件費計(B)	千円	2,285	2,215	2,215	2,215	2,215	0.40人	
投入量(A)+(B)	千円	2,935	2,944	8,348	6,000	11,136		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	・平成7年3月に制定した「清水洞の上地区整備研究調査報告書」に基づき、整備計画策定委員会を組織して整備に向けた取り組みを開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・「清水洞の上自然を守る会」が発足し、地域住民と市と協働し、積極的な管理活動を行っている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・より良い公園にしてほしい・未整備部分の工事着工を早期実現してほしい・「清水洞の上自然を守る会」が維持管理を継続できるのか(公園を拡大した場合を含む)・「清水洞の上自然を守る会」会員の高齢化が懸念							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table></td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">(人件費) 0</td> 千円)</tr></table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table>	0	(人件費) 0
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table>	0				
0					
(人件費) 0					

 増加 (事業費) | | |---| | 0 | |---| || (人件費) 0 | 千円)
| 反映なし | |

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園用地取得及び整備費用は市が負担し、整備後の維持管理については、管理費として必要最小限のものを除き「清水洞の上自然を守る会」が行っていることから妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 「清水洞の上自然を守る会」会員により、公園の維持管理が保たれ、年間事業計画に基づき活動している。 公園整備後、長きにわたり会員において活動を継続しているが、後継者となる若い会員とともに一体的に活動を行うことで、活動に幅を広げることが見込める。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業に類似事業はなく、廃止した場合には既整備地が荒廃する。 市民の憩いの場及び観光客の減少につながることから廃止することはできない。
効率的 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 清水洞の上自然を守る会と協力しながら清水洞の上公園を維持管理している。 そのため、最低限の費用の計上であるので、事業費及び人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市民の誰もが利用できる「憩いの場」としての公園整備であることから、利用者の負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 「清水洞の上公園」及び「清水洞の上自然を守る会」の活動のPRを市民に周知することで、公園と守る会活動の魅力を伝え、来園者及び守る会会員の後継者の増加に努める。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 公園保全の「守る会」の地域活動と「清水洞の上公園」の魅力を今後も積極的に情報発信し、会員増と来園者の増を図る。	※担当部長が記載
---	----------

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
---	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
--	--

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	29 日
事務事業名	静峰ふるさと公園管理事業				事業類型	維持管理		
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	箕川 一利				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 静峰ふるさと公園管理事業	根拠法令	静峰ふるさと公園の設置及び 管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和40 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 「日本さくら名所100選」に選ばれている静峰ふるさと公園を訪れる人々が、快適に利用できるよう維持管理を行う。					【業務内容】 ・除草作業 ・樹木の剪定 ・グラウンド・ゴルフ場の維持管理			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
来園者 施設及び樹木	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
	管理面積	ha	12.	12.	12.	12.	12.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
除草及び樹木の剪定・植栽等を行い、グラウンド・ゴルフ場を含め公園を良好な状態に維持管理する。	作業日数	日	308.	311.	311.	311.	311.
	公園清掃日数	日	138.	135.	140.	140.	140.
	更新した樹木数	本	120.	0.	120.	0.	120.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・来園者が快適かつ安心して利用できるようにする。 ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度の八重桜まつりは中止となった。	年間来園者数	人	85549.	83255.	95000.	95000.	95000.
	八重桜まつり入場者数	人	38000.	41000.	0.	41000.	41000.
	グラウンド・ゴルフ利用者数	人	3333.	2344.	2400.	2500.	2600.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	3,179	3,737	684	684	684
	一般財源	千円	30,896	37,416	38,211	38,113	38,211
	事業費計(A)	千円	34,075	41,153	38,895	38,797	38,895
人件費計(B)	千円	2,285	2,510	2,510	2,510	2,510	0.45人
			0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
	投入量(A)+(B)	千円	36,360	43,663	41,405	41,307	41,405
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	・昭和40年度に当時の瓜連町において、市民の憩いの場を確保することを目的として、静峰ふるさと公園第1次造成工事が着手された。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・施設の経年劣化が進んでいる。 ・樹木の古木化が進んでいる。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・きれいに管理されている。 ・園内にグラウンド・ゴルフ場案内看板の設置をしてほしい。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	31 日
事務事業名	八重桜まつり事業				事業類型	補助金	点検日	年
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	1 観光イベントによる地域活性化						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 八重桜まつり事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和45 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 日本さくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園で、「八重桜まつり」としてイベントを開催することにより、観光客の誘致及び各種団体の自主活動の活性化を図る。					【業務内容】 イベントの運営の補助及びまつり期間の公園管理業務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、まつりの共催。 駐車場警備、ゴミ処理、臨時トイレ借上げ等委託契約などまつり開催に伴う事務。 ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度の八重桜まつりは中止。	まつり開催日数	日	16.	14.	0.	14.	14.
	イベント開催日数	日	3.	3.	0.	4.	4.
	PR回数	回	11.	11.	5.	11.	11.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・たくさんの方に来場してもらい楽しんでもらう ・観光客を増やす・市民の郷土愛を育む	イベント参加団体数(実数)	団体	102.	110.	0.	110.	110.
	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.
	来場者数(桜期間)	人	38000.	41000.	0.	41000.	41000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,844	3,638	3,954	3,954	3,954
	一般財源	千円	5,053	3,933	4,660	4,660	4,660
	事業費計(A)	千円	7,897	7,571	8,614	8,614	8,614
人件費計(B)	千円	2,285	3,100	3,100	3,100	3,100	0.45人 0.55人
投入量(A)+(B)	千円	10,182	10,671	11,714	11,714	11,714	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	・昭和40年に町民の憩いの場を提供するために静峰ふるさと公園を造成以降、観光客誘致のためイベントを開催することになったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・「日本さくら名所100選」に選ばれたことや、インターネットの普及により地域住民のみならず広くイベント周知ができるようになったことで、県内外から多くの集客を集めることが可能となった。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・市民、観光協会会員等より、桜だけではなく四季を楽しめる公園にしてほしい。 ・継続して開催してほしい。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	31日
事務事業名	白鳥保護事業				事業類型	維持管理	点検日	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 白鳥保護事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 古徳沼及び一の関ため池に飛来する白鳥の保護啓発及び古徳沼における見学者のための施設管理					【業務内容】 ・飛来数確認 ・トイレや駐車場の維持管理 ・広報活動			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市民及び観光客 ・白鳥	最大白鳥飛来数(古徳沼)	羽	137.	175.	175.	175.	175.
	最大白鳥飛来数(一の関ため池)	羽	70.	80.	80.	80.	80.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・白鳥の餌の確保、ケガをした白鳥の保護 ・古徳沼駐車場及びトイレ維持管理 ・広報活動	市HP更新回数	回	120.	120.	120.	120.	120.
	餌の譲受回数	回	69.	70.	70.	70.	70.
	ケガ等による白鳥保護羽数	羽	5.	2.	2.	2.	2.
	トイレ・駐車場清掃回数	回	71.	72.	72.	72.	72.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・那珂市の知名度を上げ観光客を増やす。	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.
	見学者数(古徳沼)	人	6382.	5826.	6500.	6500.	6500.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	743	536	49	49	49
	一般財源	千円	106	289	973	973	973
	事業費計(A)	千円	849	825	1,022	1,022	1,022
人件費計(B)	千円	1,280	0.25人	1,365	0.25人	1,365	0.25人
投入量(A)+(B)	千円	2,129	2,190	2,387	2,387	2,387	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	古徳沼に飛来する白鳥の保護事業を行っていたことによる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	白鳥の飛来する場所が分散傾向にあり、特定の湖沼にて越冬することが減少した。また、白鳥の排泄物やため池の蓄積されている汚泥などにより水質悪化が懸念される。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・給餌する人と場所の増加等で白鳥が分散しているのでは。・餌の食べ残しによる水質悪化、見学者が残したごみ等で白鳥が負傷する場合があるため釣り禁止にしてほしい。・路上駐車がないよう駐車してほしい。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	29日
事務事業名	一の閑溜池公園管理事業				事業類型	維持管理	点検日	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	箕川 一利				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 一の閑溜池公園管理事業	根拠法令	那珂市曲がり屋設置管理条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 一の閑溜池公園及び曲がり屋の適正な維持管理					【業務内容】 公園の緑化管理及び施設設備の維持管理業務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
公園内の設備、樹木及び曲がり屋	一の閑溜池公園面積	m ²	17955.	17955.	17955.	17955.	17955.
	樹木管理本数	本	569.	569.	569.	569.	569.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
植栽の維持管理委託、曲がり屋及び各種設備維持管理 イベント等に利用してもらう	緑化管理回数	回	18.	19.	19.	19.	19.
	イベント開催件数	回	12.	11.	12.	12.	12.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
より良い環境を保ち、市民の憩いの場を提供するとともに、多くの方に来園してもらう。	設備の不具合発生件数	件	4.	2.	0.	0.	0.
	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.
	曲がり屋入込客数	人	22079.	17744.	26000.	26000.	26000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,562	2,840	43	43	43
	一般財源	千円	7,600	8,144	11,299	11,299	11,299
	事業費計(A)	千円	10,162	10,984	11,342	11,342	11,342
人件費計(B)	千円	2,285	2,510	2,510	2,510	2,510	
		0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
投入量(A)+(B)	千円	12,447	13,494	13,852	13,852	13,852	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	一の閑溜池親水公園完成後、施設の維持管理事業として開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	那珂市曲がり屋が隣接し、冬季には白鳥が飛来する公園として認知されてきた。平成30年度に曲がり屋の大規模修繕が実施された。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> 池の水が汚い・曲がり屋の利用拡大(読み聞かせ等)・園内の舗装化 代表するふるさとの景色として市民に認知されている。 障がい者向けのバリアフリー化(スロープ、点字ブロック、駐車場等) 						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	29 日
					点検日	年	月	日
事務事業名	静峰ふるさと公園魅力向上事業			事業類型	施設の整備改修			
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	片山 太一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る					
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用					
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 静峰ふるさと公園魅力向上事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成27年度～令和5年度)		
事業概要								
【全体概要】 静峰ふるさと公園の魅力向上のため、整備した複合遊具等の維持管理や修繕、公園樹木の更新を行うことで、公園利用者の集客アップと併せて地域資源を活かした観光の振興を図る					【業務内容】 ・複合遊具、ふわふわドーム、親水施設等その他施設の修繕 ・桜樹木の更新			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び観光来訪者	人口(常住人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・検討委員会において、公園整備内容及びイベント実施等の検討を行い、遊具や施設の整備、樹木更新やソフト事業を展開する。 ・地域おこし協力隊の活用	イベント開催回数	回	5.	8.	6.	10.	10.	
	観光PR実施回数	回	42.	39.	30.	40.	40.	
	HP更新回数	回	30.	30.	30.	30.	30.	
	検討委員会開催数	回	1.	0.	2.	3.	3.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
公園の魅力向上を図ることにより、来園者を増加させ、市内外の交流人口の増加、市の知名度の向上を目指す。	来園者数	人	85549.	83255.	25000.	85000.	90000.	
	更新した樹木数(桜)	本	120.	0.	120.	0.	0.	
	年間観光入込客数	人	230770.	221190.	120190.	230000.	230000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	2,305	11,555	4,055	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	19,200	0	19,000	0	0	0
	その他	千円	14,000	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,169	3,723	3,434	11,711	24,211	0
	事業費計(A)	千円	37,369	3,723	24,739	23,266	28,266	0
人件費計(B)	千円	1,355	4,320	0.75人	4,320	0.75人	4,320	0.75人
投入量(A)+(B)	千円	38,724	8,043	29,059	27,586	32,586		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	昭和40年に静峰ふるさと公園を造成し約40年が経過、施設の老朽化及び八重桜の更新の時期を迎えていることや来園者が横ばいで推移していることから、既存の施設を新たな観光資源として創出することが必要である。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、地方創生への施策に重点が置かれ、未来への投資、地方公共団体が実施する自主的・主体的な地域拠点づくりを重点的に支援する傾向がある。H29に大型遊具設置などリニューアルを実施し来園者が増加している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	公園整備からの経年により園内施設の老朽化及び八重桜の老木化が進み、来園者から利便性及び景観、また、通年での利活用が望まれる意見がある。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の魅力向上の取り組みとして、観光資源である静峰ふるさと公園を活用したイベント等の開催により、交流人口の増加及び知名度の向上を図るため、市が関与することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント内容については、現状では親子を対象としたものを主力とするが、対象を広げたりイベント回数を増やしたりして、交流人口を更に増やす余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく統廃合の余地はない。 イベント開催などソフト事業の継続的な展開が着実な集客につながることから、廃止・休止の可能性がない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園の魅力向上のために必要不可欠な整備費用、イベント開催費用を計上しており、事業費削減の余地がない。 人件費について、最小の人員で対応していることから削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求めない 市が管理する公園施設を利用して魅力向上を目指す事業であり、受益者負担を求めものではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 検討委員会をはじめ、その他外部識者などからの知見を集め、来園者の増加につながるイベントの開催を図る。また、イベントの開催を通して公園の活用方法を広め、外部団体のイベント誘致を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 今後も地方創生交付金等を活用して整備を進め通年を通じた集客に努めるとともに、「八重桜まつり」の時期以外でも各種イベントを企画し公園の認知度アップ、魅力向上を図る。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								